

# いずも

つながる  
ひろがる  
ささえあう

vol. 153 | 7月・8月号 | 令和6年8月20日発行 |

社会福祉法人  
出雲市社会福祉協議会



## TOPIC! 〈p2〉特集 「食」で地域を元気に!

〈p4〉令和5年度事業報告・決算

〈p6〉お知らせ・募集

- ・令和6年度出雲市総合社会福祉大会
- ・赤い羽根共同募金自動販売機・ガチャガチャ設置協力先募集
- ・SOSメール発見協力者募集及び事前登録のご案内

〈p6〉災害義援金・海外救援金

〈p7〉ご寄附ありがとうございます

〈p8〉ふれあいサロン研修会

〈p8〉いずりんレポート

- ・出雲市フードバンク連携協定を締結
- ・湖陵地区 稲作体験
- ・大社小学校 福祉マップ作り

〈p8〉知ってますか? 災害ボランティアセンター

# 「食」で地域を元気に！

子ども食堂と学生をつなぎ隊  
ながい ひまわり  
永井 向日葵さん

(島根県立大学健康栄養学科4年生)

## 管理栄養士の卵としてできること

永井さんは管理栄養士をめざして勉強中の大学4年生。子ども食堂との出会いから、「子ども食堂と学生をつなぎ隊（以下、つなぎ隊）」を立ち上げ、市内の子ども食堂に学生がボランティアとして参加する活動に取り組んでいます。これは学生の「地域貢献をしたい」、「食事提供の現場に行く機会がほしい」という想いと子ども食堂の「人手が足りない」「レシピに困っている」という両方の課題を解決する取組となっており、現在6ヶ所の子ども食堂で活動中です。



## 高校生で気付いた地域への想い

地域活動にふれたきっかけは、高校生の時に取り組んだ探求活動だったそうです。「一人ずつテーマを

決めて研究をする機会があって、自分の興味があることってなんだろうと考えた時に、「地域を元気にしたい！」にたどり着いたんです。地域の人手不足や高齢化で夏祭りや子ども会が廃止になるのを目の当たりにして、人が集まる機会がなくなってしまふことが悲しくて…。自分は地域の人にみてもらって育ててもらった感覚があるので、地域に元気を取り戻したいと感じたんです。」と話します。

その後、先生から市役所の方を紹介してもらい、隣接地域でまちづくり協議会が発足することによって毎週の会議に参加し始めた永井さん。この取組は地元でも取材され、注目されたそうです。その中で、人手不足↓イベント減少↓魅力がなくなる↓人が来なくなるという負のスパイラルが生じるという学びがあり、「地域おこしの成功例などを知るなかで、食の力って大きいなと感じました。産業や農業とか地域全体で発展させるために大切なものだ実感して、食に携わる仕事がしたいなって。食のプロフェッショナルとして地域に入っていきたい！」という気持ちで管理栄養士をめざすようになりました。」と進路を決めるきっかけになったそうです。



## 「こうなればいいな」が実現する喜び

自身の生活のなかでも、「地域がこんな風になっただけいいな」と感じていた永井さん。バス通学の経験からあるアイディアが生まれ、それによって地域が動き、形となったそうです。「バスを待つ場所がなかったのも、誰でも使える場所があるといいなと感じていました。コミュニティスペースがあれば多世代の交流が生まれるんじゃないかって。これを提案して、実現したんです。バスが来るまでの居場所がないって大人には分からないことなので、学生の生の声が届いて形になったことがうれしかったです。」と、この経験が今の活動でも「したいことを言ってみよう」という後押しになっているそうです。

## コロナ禍の学生生活と先生との出会い

島根の大学を選んだ理由は、地元似た雰囲気、感覚的に地域に入りやすいと感じたからだったそう。ボランティアなどで動きたいと熱意を持って、入学したものの、それを阻んだのはコロナ禍。「学校はリモート授業が多くて友だちもなかなかできないし、地域に目を向けてもどんな活動があるか知ることさえ難しい状況でした。居場所はバイトしかななくて、1、2年生の頃は地域活動をしたい気持ちが悪くなっていました。」と当時を振り返ります。

そして迎えた3年生の春、今中教授と出会い、授業で子ども食堂へ行くことに。「先生の授業で食のプロとして地域に入ることを学んで、出雲市社協の方が講師で地域活動のことを話してくださったんです。

「あ、地域に出ていいんだ」と想いが強くなりました。

た。たまたま島根に来て、先生と出会って、仲間と地域でしたいことができ、自分は運がいいなと思います。」と出会いへの喜びを語ります。

## 同じ想いをもつ仲間と一緒に

つなぎ隊のリーダーとしてメンバーをまとめる永井さんは、もともと意見を言うことが苦手な性格だったそう。しかし、今は自分のスタンスが変わったと話します。「自分がこうしたいと伝えたことでメンバーが集まったことがうれしかったです。同じ想いの仲間とのディスカッションは楽しいですし、こんな空間ができたことが幸せです。」と笑顔。「活動していて、時には嫌なこともあるけど、自分は一人じゃないし、もし間違ったことを言っても訂正してサポートしてくれるみんながいるので安心して進んでいきます。」と仲間への想いを語ります。

そんな心強いメンバーと共に活動し、地域から刺激を受けた永井さん。「地域の笑顔のために、行動している大人がたくさんいることを改めて実感しました。活動者さん自身が活動そのものに元気をもらっている姿も印象的でした。誰かと協力して、何かを作り上げるってすてきな、楽しいなと感じています。」と話します。



## 地域を「食」の力でもっと元気に！

これまでの管理栄養士になるための学びとつなぎ

隊での経験を活かし、今年8月『ごはんdeまめフェス』を企画した永井さん。これは、「子ども食堂のことを市民や学生に伝えたい！」との想いから、市内の子ども食堂の協力のもと実現した取組でした。食事ブースや食育体験、子ども食堂の展示などそれぞれの強みを活かしたイベントで学生と地域の活動者が一つになってすすめてきました。



「私が地域でやりたいことを実現するためには、色々な人の協力があったからこそだと感じています。ゼロからの始まりだったので、自分の思いを伝えるためには、それが明確でないといけないこと、誰よりもその思いと向き合うことが大切だと学びました。ちゃんと熱があれば、それは人に伝わっていくものだと感じる事ができました。」とかげがえのない財産となったそうです。

「私の夢は、地域を『食』で元気にすることです。食を通じて人と人がつながったり、おいしいご飯を食べて身体が元気になったり、そんな食を通じたすてきな空間が広がればいいなと思っています。これからも、どんどん地域の人となつながらるような活動をしていきたいです！」と力強く語ります。等身大の言葉のなかに地域への情熱がほとばしる永井さん。これから、人と人、人と地域をつなぎ、身体も心も元気にする「食」のプロフェッショナルとしての活躍に期待です！



# 令和5年度事業報告

出雲市社会福祉協議会では、誰もが安心して暮らせるまちづくり「地域共生社会の実現」を目指し、様々な課題に対応するため、地域福祉の推進に取り組みました。

## 令和5年度の主な取組

### 地域包括ケアの推進

高齢者あんしん支援センターの活動を引き続き推進し、あらゆる生活上の課題をワン・ストップで受け止め解決につなげる『総合的な相談支援体制』の整備を進めました。

### 生活困窮者等への支援

生活困窮等、さまざまな生活課題を抱える世帯（人）に対し、問題解決と自立に向けた支援を行いました。

### 権利擁護を必要とする人への支援

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力に不安がある方に対し、日常生活自立支援事業や法人後見事業等の事業により権利擁護に取り組みました。

### 生活支援体制整備

だれもが住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域での生活支援サービスと支え合いの体制づくりを進めました。



### 物価高騰等の影響を受けた人への支援

フードドライブを2回開催し、物価高騰等の影響により困窮される家庭や子育て世帯へ、地域の皆様からご寄贈いただいた食品・日用品を届けました。



◆協力者：495の個人・団体

◆利用者：延べ3,485人

### 子ども食堂への支援

子ども食堂を応援するために立ち上げの相談や助成金等の情報提供、団体同士のつながりづくりを行いました。



◆市内の子ども食堂数：

30ヶ所（うちR5年度開設：6ヶ所）

### 地域の福祉活動の推進

地区社会福祉協議会や福祉団体等が地域の福祉課題を解決するために行う活動を支援しました。



### 福祉教育の推進

職員やボランティア団体、介護の専門職などが学校や地域に出向き、「福祉の心の醸成」や「ふくしの人づくり」を進めました。



◆実施回数：119回

### 能登町への職員派遣

能登町社会福祉協議会へ職員1名を派遣し、現地の災害ボランティアセンターの運営支援にあたりました。



◆派遣期間：

3/9(土)～3/15(金)

令和5年度事業報告の詳細は本会ホームページに掲載しております。

🔍 出雲市社会福祉協議会 事業報告

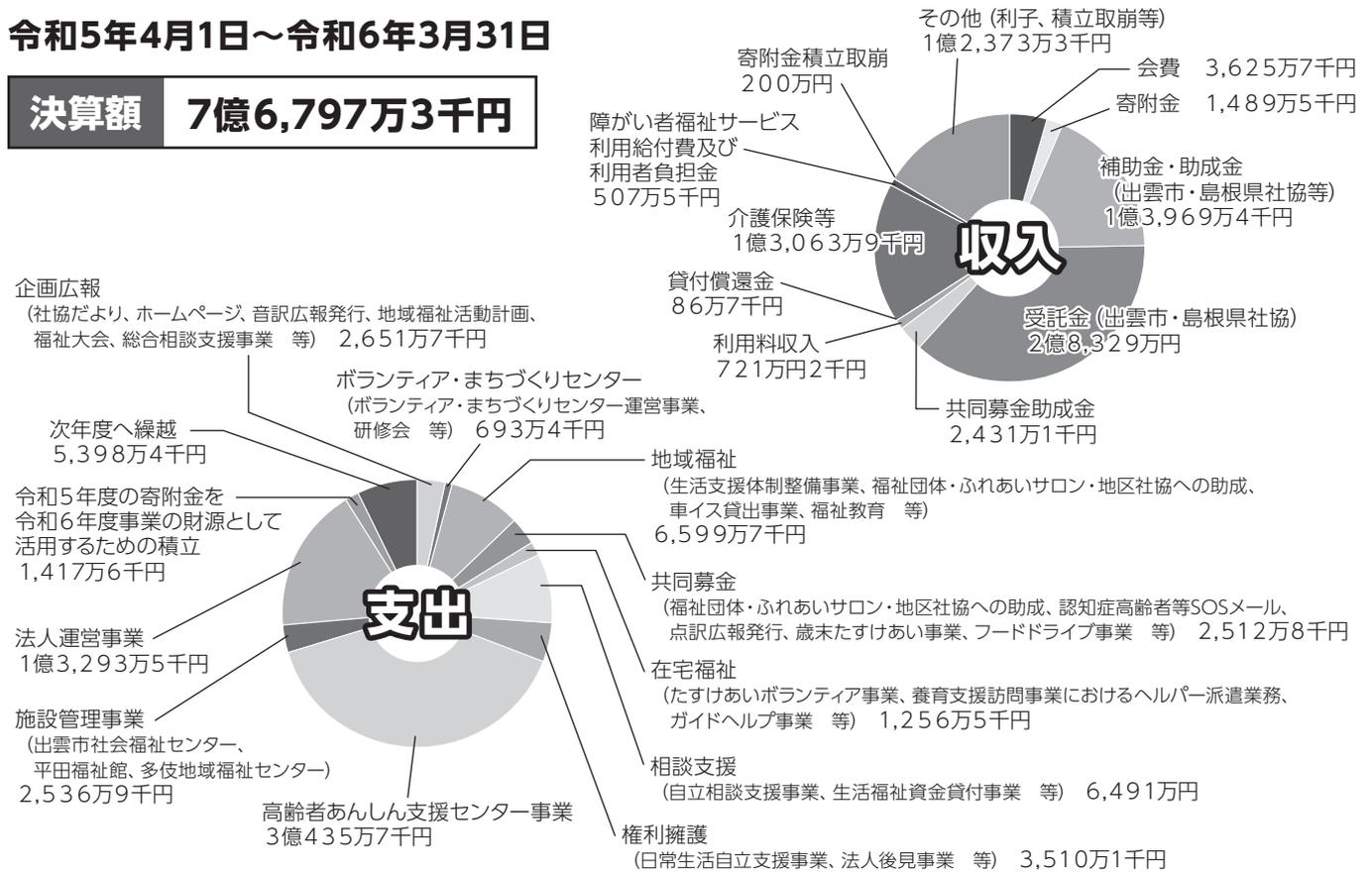
🔍 検索



# 令和5年度決算報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

**決算額 7億6,797万3千円**



## 貸借対照表

| 借方 (単位：千円)    |                |
|---------------|----------------|
| 科目名           | 金額             |
| <b>《資産の部》</b> |                |
| 流動資産          | 101,558        |
| 現金預金          | 75,146         |
| 事業未収金         | 24,944         |
| 未収金           | 116            |
| 未収補助金         | 814            |
| 立替金           | 5              |
| 前払費用          | 297            |
| 預け金           | 236            |
| 固定資産          | 896,889        |
| 基本財産          | 44,925         |
| 定期預金          | 9,000          |
| 建物            | 35,925         |
| その他固定資産       | 851,964        |
| 土地            | 11,294         |
| 建物            | 48,553         |
| 車両運搬具         | 2,320          |
| 器具及び備品        | 3,276          |
| 有形リース資産       | 8,456          |
| ソフトウェア        | 510            |
| 貸付事業資金貸付金     | 834            |
| 長期預け金         | 106,425        |
| 退職給付引当資産      | 43,310         |
| 福祉事業積立資産      | 409,295        |
| センター建設積立資産    | 200,000        |
| 権利擁護積立資産      | 125,078        |
| 助成積立資産        | 84,217         |
| 修繕積立資産        | 72,742         |
| 寄附金積立資産       | 118,143        |
| たすけあいボラ積立資産   | 1,528          |
| 人件費積立資産(ガイド)  | 1,000          |
| 運営資金積立資産(包括)  | 6,500          |
| 地域包括推進事業積立資産  | 17,778         |
| <b>資産の部合計</b> | <b>998,447</b> |

| 貸方 (単位：千円)         |                |
|--------------------|----------------|
| 科目名                | 金額             |
| <b>《負債の部》</b>      |                |
| 流動負債               | 49,294         |
| 事業未払金              | 11,259         |
| その他の未払金            | 3,698          |
| 1年以内返済予定リース債務      | 1,720          |
| 未払費用               | 11,982         |
| 預り金                | 14,900         |
| 職員預り金              | 5,454          |
| 前受収益               | 281            |
| 固定負債               | 181,176        |
| リース債務              | 6,737          |
| 退職給付引当金            | 174,439        |
| <b>負債の部合計</b>      | <b>230,470</b> |
| <b>《純資産の部》</b>     |                |
| 基本金                | 9,000          |
| 国庫補助金等特別積立金        | 36,810         |
| 福祉事業積立金            | 409,295        |
| センター建設積立金          | 200,000        |
| 権利擁護積立金            | 125,078        |
| 助成積立金              | 84,217         |
| 修繕積立金              | 72,742         |
| 寄附金積立金             | 118,143        |
| たすけあいボラ積立金         | 1,528          |
| 人件費積立金(ガイド)        | 1,000          |
| 運営資金積立金(包括)        | 6,500          |
| 地域包括推進事業積立金        | 17,778         |
| 次期繰越活動増減差額         | 95,181         |
| うち当期活動増減差額         | 17,774         |
| <b>純資産の部合計</b>     | <b>767,977</b> |
| <b>負債及び純資産の部合計</b> | <b>998,447</b> |



## 令和6年度出雲市総合社会福祉大会

■ 日時：9月12日(木) 13:30~15:30

■ 会場：出雲市民会館 大ホール

■ 内容：式典（長寿のお祝い、社会福祉功労者の表彰）

講演 講師：山陰中央新報 論説委員 岡田 素衣 氏

演題：『命をつなぐ出雲 ～取材で出逢った言葉から～(仮)』

○障がい者就労継続支援事業所による商品販売もあります。

○駐車場に限りがございますので公共交通機関のご利用をお願いいたします。

問合せ先 総務課企画係 ☎23-3781

## 赤い羽根共同募金自動販売機・ガチャガチャ設置協力先募集

### 「じぶんの町を良くする」自動販売機

商品を購入すると売上金の一部が赤い羽根共同募金へ寄付される仕組みになっています。

○設置費：無料（月々の電気代はご負担いただきます。） ○設置先：企業様または個人様

○機材管理、商品補充は販売協力業者が行います。

### ガチャガチャ募金

1回100円で赤い羽根共同募金×しまねっこデザインの缶バッジがもらえるガチャガチャです。

代金は全額募金となります。地域のイベント等への貸出しもできます。

【設置施設】 期間：令和6年7月～令和7年3月末

- ・出雲弥生の森博物館
- ・出雲ゆうプラザ
- ・島根県立古代出雲歴史博物館
- ・アトネスいずも
- ・出雲市役所

設置にご協力いただける方はぜひご連絡ください！

問合せ先 出雲市共同募金委員会（事務局：出雲市社会福祉協議会総務課） ☎23-3781



## SOSメール発見協力者募集及び事前登録のご案内

認知症高齢者等の行方不明情報を携帯電話、スマートフォン等にメールで配信し、早期発見につなげます。

出雲市公式LINEでも行方不明者情報を受け取ることができます。こちらもぜひ登録をお願いします。

### 発見協力者の登録方法

①右の二次元コードを読み取るか、sos-join@izumoshakyo.jpへ空メールを送信。

②SOSメール管理者からメールが届いたら、登録完了。

【注意】登録できない場合は「izumoshakyo.jp」ドメインを受信可能にし、URL付きメールのフィルタ設定を一時的に許可してください。



あわせて認知症等で行方不明になる可能性がある方の事前登録を受け付けています。登録していただいた情報は本会及び出雲警察署で共有し、速やかな検索活動、早期発見、保護された時の身元確認に役立てます。詳しくはお問合せください。



←出雲市公式LINEの友だち登録はこちら

問合せ・申込先 地域福祉課 ☎23-3781

## 災害義援金・海外救援金のお知らせ

| 名称   | 送金額(7月31日現在)        | 受付期間         |
|--|---------------------|--------------|
| 令和6年能登半島地震災害義援金<br>※現在の配分先：石川県、富山県、新潟県、福井県 | これまでの送金額 5,416,085円 | 令和6年12月27日まで |
| バングラデシュ南部避難民救援金                            | これまでの送金額 11,000円    | 令和7年3月31日まで  |
| ウクライナ人道危機救援金                               | これまでの送金額 2,530,043円 | 令和7年3月31日まで  |
| アフガニスタン人道危機救援金                             | これまでの送金額 10,000円    | 令和7年3月31日まで  |
| イスラエル・ガザ人道危機救援金                            | これまでの送金額 19,382円    | 令和6年9月30日まで  |
| 2024年台湾東部沖地震救援金                            | これまでの送金額 38,100円    | 受付終了         |

問合せ先/日本赤十字社島根県支部出雲市地区（事務局 出雲市社会福祉協議会本所・各支所）



# ご寄附 ありがとうございます

令和6年5月11日～令和6年7月10日受付分（敬称略）

\*出雲市社会福祉協議会ではご寄附いただいた方のご意志を尊重し、氏名等を掲載しています。なお、金額は掲載しませんのでご了承ください。

## 一般寄付

<団体>

パプスナックれんか

(チャリティーゴルフ収益金として)

株式会社ハピネライフー光

ハピネケアセンター出雲

(ハピネ祭り フリーマーケット  
売上収益金として)

しまね信用金庫

平田町 高木 佐栄子 (浩二)

平田町 徳田 美郎 (勝部 藤子)

平田町 土江 健嗣 (繁雄)

平田町 森脇 重夫 (一男)

平田町 川瀬 道子 (河原 剛正)

瀬分町 新宮 立得 (英子)

国富町 渡部 晴輝 (登志子)

奥宇賀町 足立 健 (英男)

唐川町 荒木 実 (安子)

東福町 長岡 元樹 (喜久栄)

東福町 佐藤 広利 (廣子)

東福町 土江 光世 (和世)

東福町 福田 隆 (里沙)

東福町 福田 孝吉 (ハル工)

多久町 松林 真由美 (均)

園 町 橋本 民子 (満雄)

鹿園寺町 新宮 弘夫 (富枝)

小境町 長岡 和子 (重夫)

小境町 伊岐 修司 (真喜子)

小境町 長崎 美彦 (マサ子)

小境町 梶谷 直正 (純子)

小境町 梶谷 優 (吉子)

小津町 川瀬 清恵 (正美)

塩津町 高橋 一孝 (和子)

美保町 佐藤 秀徳 (英司)

坂浦町 三島 幸夫 (利夫)

野郷町 川瀬 伊佐子 (明子)

<佐田>

反 辺 安喰 美恵子 (豊)

反 辺 馬庭 亮 (米子)

八幡原 岩崎 猛 (マサ子)

<多伎>

奥田儀 大谷 一夫 (久子)

口田儀 藤原 淳 (ハリエ)

小 田 杉谷 浩 (博行)

久 村 福庭 茂雄 (サナ工)

<湖陵>

三 部 林 登志也 (禮子)

差 海 梶谷 笑美 (大峠 サト子)

<大社>

中荒木 藤村 八郎 (博英)

中荒木 進藤 哲夫 (静江)

中荒木 杉原 浩紀 (武)

中荒木 馬庭 裕 (敏)

北荒木 三島 薫 (栄子)

北荒木 日野 淑子 (昂悦)

杵築東 内藤 俊朗 (ツネ子)

杵築西 三原 正巳 (みゆき)

杵築西 園山 敏夫 (寿子)

杵築北 山本 育生 (達雄)

<斐川>

学 頭 周藤 浩 (由則)

学 頭 周藤 文子 (研二)

学 頭 原 昇 (菊江)

上庄原 伊藤 光治 (俊夫)

出 西 青木 彰 (波江)

富 村 高橋 義則 (哲雄)

富 村 岡 恭一 (正雄)

上直江 青木 純夫 (幹夫)

直 江 石川 保 (知子)

福 富 杉谷 一男 (タケノ)

原 鹿 伊藤 康孝 (由里子)

今在家 小村 和江 (収)

中 洲 高橋 佑輔 (真治)

<市外>

東京都 北村 定義 (芳子)

## 匿名

13件

## ご寄贈

<出雲>

塩治町 堀江 俊孝

<斐川>

直 江 伊藤 富夫

<団体>

斐川町寿昌クラブ連合会

荘和会 会長 稲田 清春

皆さまからのご寄附は、市内で福祉活動を行う団体及び  
各地区社会福祉協議会への助成などに使わせていただいております。

- 出雲市社会福祉協議会に対する寄附は、住民税と所得税の控除対象になります。また、寄附者が法人の場合には、損金算入の制度が利用できます。

【例】出雲市にお住まいの方が本会へ50,000円の寄附をされた場合

※税額控除を選択した場合

〔1〕所得税 (50,000円 - 2,000円) × 40% = 19,200円

〔2〕住民税 (50,000円 - 2,000円) × 10% = 4,800円

〔1〕 + 〔2〕 = 24,000円 …… 税額控除額となります。

※一例であり、個々のケースにより控除額は変わります。詳しくは税務署等へお問い合わせください。

- 「地区の社会福祉協議会へ寄附をしたが、市の社協だよりに掲載されていない」とのお問い合わせにつきまして、本会と各地区の社会福祉協議会は地域福祉の推進におけるパートナーであり連携して事業を行っておりますが、別の団体であることから、各地区社会福祉協議会に対する寄附はこの紙面に掲載しておりません。ご了承ください。



# ふれあいサロン研修会

地域での健康づくりや交流、支え合いの場となるふれあいサロンの研修会を開催します。

|              |  |             |   |
|--------------|--|-------------|---|
| <b>日時</b>    | 11月1日(金) 13:00~15:45 (受付12:30から)       | <b>定員</b>   | 70人(先着順)  |
| <b>会場</b>    | 朱鷺会館 (出雲市西新町2丁目2456-4)                 | <b>参加費</b>  | 無料  |
| <b>テーマ</b>   | 「地域の居場所とつながろう!」                        | <b>申込方法</b> | 10月18日(金)までに、①氏名<br>②電話番号をご記入のうえ、メール<br>またはFAXでお申し込みください。 |
| <b>参加対象者</b> | ふれあいサロン活動のスタッフ及び参加者の方、<br>サロン活動に興味がある方 |             |   |

問合せ・申込先：地域福祉課 ☎23-3781 FAX 20-7733 Eメール fukushi@izumoshakyo.jp  
※メールでの問合せ・申込みの際は、件名を「ふれあいサロン研修会」としてください。



## 大社小学校 福祉マップ作り

3年生の子どもたちと大社町内の福祉施設などを地図で確認しながら作成しました。「そこ知ってる!」「行ったことある!」とにぎやかな雰囲気です。地元の福祉を身近に感じることができました。



## 湖陵地区 稲作体験

湖陵幼稚園と湖陵小学校5年生の子どもたちが地域の方と田植えに挑戦! 悪戦苦闘しながらも元気いっぱい歓声と笑顔に包まれ、農業と食について楽しく学ぶことができました。



## 出雲市フードバンク 連携協定を締結

フードバンク事業を行うNPO法人しまね子ども支援プロジェクト様と、より円滑な支援ができるよう協定を結びました。一人でも多くの方に支援が届くよう連携してまいります。

レポ  
ずり  
ん  
ト



### 支援内容

- 災害ボランティアセンターの運営
- 被災された方のニーズ調査 など



能登町災害ボランティアセンター

大規模な災害が発生した際には、全国の社会福祉協議会のネットワークを活かして日本各地の協議会が職員を被災地へ派遣し、現地の災害ボランティアセンターの業務支援にあたります。  
本会では、能登半島地震の被災地を支援するため、3月と5月に続き7月1日から7月7日まで職員1名を派遣しました

- 活動内容は?**
- 被災地のニーズの把握(家の片付け等)
  - ボランティアの受入・調整
  - 活動の実施 など

**運営の担い手は?**  
出雲市災害ボランティアセンターは、出雲市と出雲市総合ボランティアセンター運営委員会、出雲市社会福祉協議会の三者で設置・運営します。活動には赤い羽根共同募金などが活用されます。

**災害ボランティアセンターって?**  
災害発生時に被災された方々が1日も早く元の生活に戻れるよう支援するために臨時的に設置されます。

?  
知  
っ  
て  
ま  
す  
か

災害  
ボランティアセンター



出雲市社会福祉協議会連絡先

〈窓口対応〉平日8:30~17:15

☎23-3781(代表) FAX20-7733(代表)

✉ fukushi@izumoshakyo.jp

ホームページ <https://www.izumoshakyo.jp/>

総務課・地域福祉課/☎23-3781 FAX20-7733

生活支援課/☎23-3790 FAX20-7733

いづも権利擁護センター/☎25-0955 FAX20-7733

平田支所/☎63-4624 FAX63-5011

佐田支所/☎84-0131 FAX84-9034

多伎支所/☎86-2331 FAX86-2351

湖陵支所/☎43-2310 FAX43-2226

大社支所/☎53-3196 FAX53-6053

斐川支所/☎73-9330 FAX72-4068



高齢者あんしん支援センター

出雲/☎25-0707 FAX25-0901

平田/☎63-8200 FAX63-5011

佐田/☎84-0019 FAX84-9034

多伎/☎86-7122 FAX86-2351

湖陵/☎43-7611 FAX43-2226

大社/☎53-3232 FAX53-6053

斐川/☎73-9125 FAX72-4068

